

☆信頼性試験の考慮すべきポイント、故障解析のアプローチの仕方についてなど、基本から詳しく解説します

信頼性試験と故障解析の理論と実践

<https://www.rdsc.co.jp/seminar/250759>

- ◆日時: 2025年07月18日(金) 10:30~16:30
- ◆会場: WEBセミナー(オンライン開催)
- ◆聴講料: 1名につき55,000円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき49,500円(税込)
- ・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で55,000円(税込))

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: (株)ワールドテック 講師 門脇 賢治 氏

【習得知識】

- ・信頼性試験で的確に設計品質を評価する方法を学び、見落としの無い試験を行える。
- ・加速化理論を学び、市場と対応のとれた信頼性試験条件を設定できる。
- ・故障メカニズム仮説のデザインなど故障解析の基本を習得できる。

【講座の趣旨】

信頼性試験は設計品質の正しさを証明し、市場での不具合を未然防止する手段ですが、規格や顧客要求の試験に合格すれば良いという認識で、試験自体については深く考えずに実施されることが散見されます。

市場でユーザにご迷惑をおかけした後に、実は信頼性試験で検出すべき不具合であったという事例もあります。

このような不具合は製造上の問題ではないので、工場の検査では検出する事ができません。気づいた時には長期に亘って市場へ流出した後なので多大な損失につながります。

事前に設計FMEAで故障を抽出しても、その故障を評価できる試験条件になってない場合、また、判定方法が不適切な場合には、故障を見逃してしまう事になります。

信頼性試験で考慮すべきポイントを学び、信頼性試験の基本/理論、及び故障解析のアプローチの仕方も併せて解説します。

【プログラム】

- はじめに
 - 1-1. 信頼性の特徴
(数の問題、時間の問題、要求される機能と重要度、使用環境条件)
 - 1-2. 法規制への対応(リコール)
- 信頼性試験
 - 2-1. 信頼性試験とは(定義、市場寿命、開発フロー)
 - 2-2. 信頼性試験の課題(試験個数、試験時間、加速化)
 - 2-3. 信頼性試験の種類
 - 2-4. 信頼性試験の計画(変更点に着眼)
 - 2-5. 試験結果の判定
- 加速化と故障モデル
 - 3-1. 概論
 - 3-2. 故障モデル各論
(反応速度論、マイナー則、S-Sモデル、ワイブル、ランダムウォークなど)
 - 3-3. 市場との対応づけ
 - 3-4. 加速化の注意事項
 - 3-5. 信頼性試験事例
- 故障解析
 - 4-1. 故障解析の定義と故障メカニズム
 - 4-2. 故障解析の進め方
 - 4-3. 故障解析の各ステップ
 - (1) 不具合情報の収集・整理
 - (2) 故障現品の調査
 - (3) 故障メカニズム仮説デザイン、
 - (4) 故障メカニズム仮説の立証
 - (5) 発生予測・故障の影響解析
 - (6) 是正処置
 - (7) 再発防止

[付表] 故障現象一覧表、正規分布表、パーセントランク表

『信頼性試験【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐ Eメール☐ 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>